

質問事項

- ◆水の郷小学校の学童保育(放課後児童クラブ)設置
- ◆大倉保育所の継続
- ◆農地中間管理機構を活用した基盤整備事業

# 久保木 宗一

くぼき そういち 議員

## 水の郷小学校校区に学童保育(放課後児童クラブ)を



**問** 香取市には国道や県道などの主要幹線道路が数多く存在し、いずれも市民の生活に密着している。道路が整備されると人・物・金がそこに集まり、地域は活性化する。国道356号の現在の整備状況と今後の整備予定は。

**答** 当該道路を管理する県香取土木事務所に確認したところ、「現在、利根川右岸のバイパス整備を進めており、東庄町利根川大橋から小見川大橋までの約8.7kmについて令和5年度までの供用開始を目指し、整備を進めていきます。また、佐原消防署協交差点から津宮バイパス入口までの約1.9kmの区間について、4車線化を行う篠原拡幅を実施しており、引き続き用地取得に努めていきます」との回答がありました。

**問** 主要地方道成田小見川鹿島港線の現在の整備状況と今後の整備予定は。

**答** 当該道路を管理する県香取土木事務所に確認したところ、「狭間で屈折した区間の安全で円滑な交通を確保するため、佐原橋海線と交差する上ノ台交差点付近の区間約1kmにおいて歩道整備を実施しており、早期完成を目指して

**問** 学童保育の毎日の児童の移送は交通事故の危険性があり、運転手にプラスしてもう一人の補助者がいるか。

**答** 学校のスクールバスと異なり、送致する児童数も少なく、乗車人員も少数の車両であることから、運転手1名体制で安全の確保が可能と考えています。

**問** 万が一事故が起きた時、子どもの安全を確保するため移送に二人体制をとるのは最低限必要では。

**答** 必要性については、十分検討、研究していきます。

**問** 津宮区長会から水の郷小学校校区に学童保育(放課後児童クラブ)を作ってほしいと市長への要望書が提出されましたが、この地域の声をどう思うか。

**答** 津宮小と大倉小については、現在、送致により11名の児童が佐原第5児童クラブを利用しています。

水の郷小学校への放課後児童クラブの設置については、地域の皆さんの意見・要望を受け止め、今後の利用ニーズを把握しながら施設整備の必要性を検討します。

**問** 水の郷小学校の校内に学童保育を設置するのが望ましいが、時間的・経済的な事情から建物も遊具あり休園している津宮幼稚園を当面学童保育として有効活用させてほしいが。

**答** 津宮幼稚園の活用については、教育委員会



## 香取市における主要幹線道路の整備は

# 高木 寛

たかぎ ひろし 議員

質問事項

- ◆香取市職員定員適正化計画の推進
- ◆香取市における主要幹線道路の整備
- ◆香取市における雑草除去対策



整備された県道成田小見川鹿島港線(木内地先)

## 市職員定員適正化計画推進は

事業を行っていきます」との回答がありました。

**問** 合併当初と現時点との職員数の比較及び具体的な削減効果は。

**答** 平成18年4月時点での職員数は921人でしたが、令和3年4月時点では573人となり、37.8%の削減をしました。人件費については、令和2年度一般会計決算で約55億6千万円、平成18年度の72億8千万円と比較し約17億2千万円、23.7%の大幅減となります。

**問** 今後の香取市の円滑なる行政の推進を図るには、職員の意識改革が必要と思えるが、その向上のため方策は。

**答** 市では、人材育成を基本とした人事評価制度を導入し、職員の能力や勤務実績を反映した評価を行っています。また、職員研修について、現在、国の省庁や民間企業へ職員を派遣しているほか、自治大学校等が実施する各種研修へ職員を派遣し、意識改革に取り組んでいます。

## 香取市における雑草除去対策は

**問** 雑草の繁茂は環境破壊や交通災害を生じる。休耕田における雑草除去対策は。

**答** 耕作放棄地の発生防止と解消を重点項目として位置づけ、草刈り等の適正管理について周知を図っています。また、土地所有者に対し、口頭や書面にて注意を呼びかけています。

**問** 地元に学童保育があれば、土曜日や夏休み等の長期休暇に大倉・津宮の保護者が遠い佐原小まで送り迎えがなくなる。現在の地域の声を過去からの変化として尊重し英断していただきたい。

**答** 地域の声を聴かせていただき、検討をさせていただきます。



令和4年4月1日に統合校として開校する水の郷小学校(現津宮小学校)